令和５年度　学校だより 西之表市立安城小学校

あんじょう　１月号

安城小ブログを
ご覧いただけます
Message bottle from Anjo

「行ってらっしゃい。」「行ってきます。」「お帰りなさい。」「ただいま。」を言える幸せ

校長　吉満　ふくみ

令和６年（2024 年）を迎え，年頭の御挨拶を申し上げます。

また，元日に発生しました能登を震源とする「令和６年能登半島地震」にて，被災された皆様に心より御見舞い申し上げますとともに犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表します。被災地域の方々の被害の拡大が少しでも抑えられ，１ 秒でも早く安心で平穏な生活に戻られることを心より御祈り致します。

安城校区では，年末の門松づくりや，元日の新春歩こう会，初詣等を行っていただき，子供たちも新年の清々しさを感じることができました。校区長様をはじめ関係の方々に，心から御礼申し上げます。

【寒空に咲くスイセン】

さて，３学期が始まり，子供たちの元気な声が安城小に戻ってきました。

始業式では，年明け早々の地震災害や航空機事故等に触れ，「まずは，みなさんとこの安城小学校でまた会えたこと，みんなが来てくれたことが何よりも嬉しい。」と話しました。そして，当たり前の日常の大切さに気付かされたこと，今の自分に何ができるだろうかと考えた時に，与えられた環境の中で，被災された方たちのことを思いながら，何か目標をもって自分を生きることが大切だと話しました。

今月のタイトルにある言葉は，わたしが人生を歩みながら大切にしている「幸福感」の最たるものです。 普段，何気なく使っているこの言葉は，見送る人，出かける人，
出迎える人，帰る人それぞれの気持ちがこもった言葉であり，
「行ってらっしゃい。」は「行って，無事に帰ってらっしゃい。」
「行ってきます。」は「行って，無事に帰ってきます。」
「お帰りなさい。」は「よく無事にお帰りなさいました。」
「ただいま。」は「ただいま，無事に帰りました。」
の縮小された言葉だと小さいころ親に習いました。

どの言葉にも「無事に」という人々の願いが入っている，まさしく言霊（ことだま）であり，発した通りに言葉に宿る不思議な力があるとずっと思いながら生活しています。家族ができて，送り出す側になった時には，出かける前にふとしたことでケンカになっていたとしても，「この言葉を言わなかったことで何かあったら…後悔してもしきれない。」との思いから，「行ってらっしゃい。」の言葉とともに「気をつけてね。」を必ず付け加えています。校長となった今は，子供たちが帰る時は「さようなら。気をつけて帰ってね。またね。」，職員が帰る時は「お疲れさまでした。お気をつけて。」というふうに私の思い・願いを伝えているところです。被災地域の方々のことを思うと今ここにある日常に感謝するとともに，「行ってらっしゃい。」「行ってきます。」「お帰りなさい。」「ただいま。」を言える幸せを感じる毎日であります。

ところで，能登半島地震で大きな被害を受けた市の避難所で，子供たちが他の被災者らを元気づけようと壁新聞を作り続けている，というニュースを１１日に知りました。学校にある広幅用紙とマジックペンを使い，体調維持のための体操を手書きイラスト付きで紹介したり，炊き出しの人気メニューを発表したりと，楽しく読めるように工夫し，「みんな大変なので私たちもできることを頑張りたい。」と小中学生１２人が４日から発行を始めたと記事にありました。物資の配付情報や感染症情報についても大人のアドバイスを受け，編集会議を経て作成しているとのこと。「この避難所はお年寄りが多いので，若い私たちが動かないといけない。」と話す姿と，読者が「イラストにほっこりする。子供たちが避難所を元気にしてくれている。」と話す姿を見ながら，まさに子供たちの「生きる力」と地域との連携について考えさせられることでした。

西之表市立安城小学校　891-3432　西之表市安城 1006 番地
TEL0997（23）7372　FAX0997（23）7380　http://anjou.synapse-blog.jp